

paradoxa, the differences are as follows.

S. paradoxa. Head clavate, citron yellow. Ascospores 60-75 μm in length; central ellipsoidal cells commonly found.

S. kibiana. Head oblong, ochraceous. Ascospores 30-40 μm in length; central ellipsoidal cells very rare.

2) ***Auricularia fuscusuccinea*** (Mont.) Farlow.

Hab. Growing on wood in the Kobayasi's woods, Tamaniwa, Yamagata Pref. (Sept. 1973).

This is the first record from Japan.

* * * *

Shimizuomyces の第 2 の種 *S. kibiana* (キビノムシタケ) を新種として記載した。日本新産の *Auricularia fuscusuccinea* を報告した。

○高等植物分布資料 (108) Materials for the distribution of vascular plants in Japan (108)

○ケホシダ *Christella parasitica* (L.) HOLTZ. 1983年9月15日, 和歌山県日高町立日高中学校教諭の清水宏造氏が生徒と採集したシダ植物の中にケホシダらしいものがあったので, 後日, 自生地を訪れ確認した。自生地は紀伊半島西岸の中部にある和歌山県日高町片杭の海岸から約 200 m, 海拔約 50 m の照葉樹林下の小さな谷の傍で, 群落は10数株, 広さ数 m^2 と小さいが, 葉長 1 m 以上に成長していた。標本は大阪市立自然史博物館の瀬戸剛学芸員, 京都大学植物学教室の光田重幸博士に確認して頂くとともに, それぞれのハーバリウムに所蔵をお願いした。

ケホシダは熱帯地方に広く分布し, 日本列島では九州南端部以南に普通に見られるヒメシダ科の植物で, 倉田・中池 (編): 日本のシダ植物図鑑 第3巻 (1983) によると, 四国では高知県の室戸市, 宿毛市の2ヶ所, 本州では静岡県下田市吉佐美が唯一の自生地分布の北限とされている。

(田辺市 XXXXXXXXXX 真砂久哉 Hisaya MANAGO)